



能勢高校ニュースレター

第73号 H.26. 2月発行

マレーシア修学旅行

アスタ高校との学校交流等を楽しみました!!!

去る1月20日から1月24日まで2年次生のマレーシア修学旅行を実施しました。現地での活動3日目には、第8回目となるアスタ高校との学校交流を行いました。アスタ高校は、英語をコミュニケーションツールとし、マレー系、中国系、インド系の生徒がともに学び、多文化共生や異文化理解を尊重している高校です。

本校生たちは、「総合的な学習の時間」及び春の校外学習の機会を利用し、マレーシアについての学習を積み重ねるとともに、アスタ高生と個別に半年以上かけてインターネットを利用したメール交換や写真交換などの交流を続けてきました。

当日は、朝8時30分に学校に到着。各々の交流相手を確認し、交流会が始まりました。本校生たちは、学校紹介のプレゼン、人形浄瑠璃の披露、キロロの“未来へ”の合唱などを行いました。アスタ高生たちも、民族舞踊や歌、伝統的な結婚式のパフォーマンスを披露するなど、熱烈に歓迎してくれました。交流ノートを交換し、マレーシア料理と一緒に食べた後、午後からは、アスタ高生のリードでクアランプール市内を散策しました。夕食のパーティーは、両校生たちが企画し、歌やダンスなどのパフォーマンスを競うなど、全員が心から打ち解け、大きな感動を呼ぶものとなり、まる一日かけた交流の終わりには、多くの生徒が涙を流し、別れを惜しんでいました。

また、学校交流以外の活動としては、世界遺産マラッカ訪問、熱帯雨林トレッキング、イスラム教・ヒンズー教・仏教の代表的な寺院の見学なども行いました。本校生たちは、この旅行を通じ、外国の友人を作ることができ、多民族国家であるマレーシアの文化に直接触れることができました。また、環境問題を考え、日本の文化を見つめなおすとともに、英語力を身に付けることの重要性を肌で感じ取ることができました。



↑森林研究所でキャノピーウォークでは、吊り橋を渡りました



↑ヒンズー教の聖地 バツー洞窟では、272段の石段を登りました



↑モスクでは女子生徒は赤いフード付きコートを着ます



↑アスタ高校では正門から大歓迎を受けました



↑王宮にも立ち寄りしました

ECC 国際外語専門学校で語学研修 12/19(木)

平成25年12月19日(木)梅田のECC国際外語専門学校で、語学研修を行いました。研修では、会話はすべて英語で、海外からの留学生と、1対1で会話を行ったり、ネイティブの先生による、飛行場でのチェックイン方法や、飛行機内での会話、またホテルでのチェックイン方法やレストランでの注文方法等、海外で生活するにあたり、必要な活動を模擬体験することができました。この語学研修は、修学旅行へ向けての研修であったため、生徒にとっては海外修学旅行に対する不安も少し払拭され、やってよかったとの生徒の声も聞こえるなど、有意義な語学研修となりました。



最初の全体説明



1対1での対話



飛行機内の模擬体験

人気産業活用人材育成事業成果発表会 12/20

平成25年12月16日(月)エル大阪にて、人気産業活用人材育成事業成果発表会がおこなわれました。府内の実業系を中心とした18の高校が、各学校に配置されているコーディネーターの紹介のもと、それぞれの学校におけるキャリア教育の取り組みの成果を発表しました。

本校は、農業クラブ2年生、上坊つかささん、内門優斗君、谷井宏基君の3名が、9月29日(日)本校農場にて、京都新聞旅行センターとの共催で実施した「学校農場を活用した日帰りの観光ツアー」の実践を発表しました。また、1年生5名が発表を見学しました。発表した生徒たちは、また一つ自信をつけることができました。



卸売食品展示会 うまいもん甲子園ブースに参加 1/16~17

平成26年1月16日(木)17日(金)の2日間、本校農業クラブの生徒4名が、インテックス大阪で開催された、株式会社日本アクセス近畿支社主催の「春季展示商談会」において、設定された「ご当地! 絶品うまいもん甲子園」のブースに、農業クラブの2年生上坊つかささん、1年生の稲垣伊織さん、北村茜さん、金原朋世さんの4名が出展しました。

生徒たちは、能勢町の特産品「銀寄栗」や学校で栽培している「紫黒米」を用いたオリジナルメニューの「からくり酢豚丼」を1000食用意し、来場者・参加者に試食していただきました。

試食された方からは、味・アイデアとも高く評価していただき、商品化も可能ではないかといううれしいお声もいただきました。

2日間にわたり、接客・調理を行った甲斐があり、生徒はコミュニケーションの取り方や、効率的な調理方法等多くのことを学ぶことができ、大変有意義な活動となりました。

また、この展示会には約300社の食品メーカー等が出展を行っており、調理品や加工品、パッケージデザインなど面白いものも多く、今後の活動の参考になりました。

接客を行う中で、「能勢」という地域そのものや、特産品が「栗」であることを知らない方が多かったことが印象的であったこともあり、今後もこのような活動や観光事業を通して、能勢町や特産品を売り出す活動を続けていきたいと思っております。



大阪府総合学科高等学校研究発表会 12/21

12月21日(土)大府立今宮高校多目的ホールにて、大阪府総合学科研究発表会が開催されました。府内の総合学科高校10校が、総合学科としての特色のある取組の成果を発表しました。

本校は、3年生高木賢也君、西貴大君、向林辰浩君、横田泰己君、2年生中西花穂さんの5人が、選択授業「社会福祉基礎」での福祉施設「三恵園」と関西福祉科学大学との5回の連携授業については発表しました。発表では5人による授業で学んだ手話から始まり、「三恵園」の見学や施設利用者さんとの交流活動、福祉を志す大学生との交流活動やワークショップの様子について発表しました。施設の利用者さんや職員の方との交流活動や大学生との協働、さらには、発表までの学習は、生徒たちにとり貴重な経験となりました。

当日、発表会場にはこの連携授業を指導された関西福祉科学大学の一村小百合先生も、応援に駆けつけて下さいました。「『社会福祉基礎』で学んだことを自信を持って発表していて、しっかり伝えることができていました。発表を見に来た甲斐がありました。」との感想をいただきました。



手話であいさつ

いのちの大切さを学ぶ作文コンクール 12/19

12月19日(木)に、能勢町豊能警察署において「命の大切さを学ぶ教室作文コンクール表彰式」が開催されました。これは7月10日に大阪府警察本部・豊能警察署・大阪府青少年地域安全室治安対策課・少年犯罪被害当事者の会の協力で行われた一井綾子氏の講演会を聴講した1年次生のうち優秀作文を書いた本校生徒7名を含め、能勢町内の中高生が表彰されたものです。

能勢町長賞を受賞した副田奈奈さんは授賞式で講演会の感想と命の大切さへの想いを発表しました。能勢町教育長賞の福田秋桜さん、豊能署長賞の野瀬彬水さんをはじめ、福西美乃さん、金原朋世さん、稲垣伊織さん、中井智晶さんにとっても、多くの人たちの前での授賞式は貴重な体験となりました。



西中学校1年生 授業見学1/11

1月11日(金)午後、西中学校1年生全員参加による能勢高校授業見学会を実施しました。5、6時間目に、視聴覚教室で全体説明のあと、農場と本校にわかれて、授業を見学しました。全体説明では能勢高生製作「能勢高校の学校生活」の映像を使って、能勢高校の様々な取組の紹介がありました。農場では「昆虫利用」「庭造り」、本校では「国語総合」「数学Ⅱ」

「英語構文」「家庭基礎」「長文読解」「健康と看護」など、様々な授業を見学しました。「難しい授業で、能勢高生はみんな真剣だった。」「中学校にはない授業をたくさん見ることができて楽しかった。」などの感想があり、中学生1年生にとって能勢高校の学校の雰囲気や授業内容を知る良い機会となりました。

